

## Critical Appraisal Worksheet - ⑫

治療 Therapy		
------------	--	--

JAMA 医学文献ユーザーズガイド 第6章を参照

このシートは「JAMA 医学文献ユーザーズガイド第2版」を利用し EBM を理解するための補助ツールです。本シートに記載されている項目は、書籍「JAMA 医学文献ユーザーズガイド」及び、オンライン JAMAevidence (2011年1月時点) に発表されているものです。表内の青色で示すイタリック表示部は、JAMAevidence や McMaster 大学の EBM working group (Guyatt 教授より提供, 2008) のワークシートを参考としているため、書籍内容と異なっている場合があります。本シートは自由に利用してかまいませんが、間違いや改善点がありましたらご連絡ください(相原: ezy01757@nifty.ne.jp)。

引用	
----	--

I 結果は妥当か	
1	<b>介入群と対照群は同じ予後で開始したか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 患者はランダム割り付けされていたか</li> <li>• ランダム割り付けは隠蔽化されていたか</li> <li>• 既知の予後因子は群間で似ていたか</li> </ul>
2	<b>研究の進行とともに、予後のバランスは維持されたか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 研究はどの程度盲検化されていたか (5つの重要集団: 患者、臨床医、データ収集者、アウトカム判定者、データ解析者)</li> </ul>
3	<b>研究完了時点で、両群は予後のバランスがとれていたか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 追跡は完了しているか</li> <li>• 患者は、ランダム割り付けされた集団において解析されたか</li> <li>• 試験は早期中止されたか</li> </ul>

II 結果は何か	
1	<b>治療効果の大きさはどれくらいか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>相対リスク減少(RRR)はどれほどか</li> <li>絶対リスク減少(ARR)はどれほどか</li> </ul>
2	<b>治療効果の推定値はどれくらい精確か</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>信頼区間はどれほどだったか</li> </ul>

III 結果を患者のケアにどのように適用できるか	
1	<b>研究患者は、自身の診療における患者と似ていたか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究の組み入れ基準と一致するか</li> <li>研究結果を患者に適用しないならかのやむを得ない理由があるか</li> </ul>
2	<b>患者にとって重要なアウトカムはすべて考慮されたか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者にとって重要なアウトカムはすべて考慮されたか</li> <li>複合エンドポイントは使われたか</li> </ul>
3	<b>見込まれる治療の利益は、考えられる害やコストに見合うか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>1件の有害アウトカムを防止するのに、あるいは1件の良好なアウトカムを発生させるのに必要な患者数(NNT)はどれくらいか</li> <li>臨床エンドポイントの減少はコスト増加や害のリスクに見あうか</li> </ul>

まとめ

コメント: